

グリッチアート試論

ucnv

目次

5	はしがき
7	PNGグリッチの技法
57	「PNGグリッチの技法」その後、 あるいはLenaについて
71	PNG Encoded by an Incorrectly Implemented Method (grayscale) 収録 #102200 – #102350
225	グリッチアートの年表
247	グリッチアート試論

2001

[★刀根康尚「Man'yo Wounded 2001」③

[iPod 発売

2002

[◆「GLITCH FESTIVAL AND SYMPOSIUM」(オスロ)④

[★Jacques Perconte「Requiem, Crash」⑤

2003

[★Cory Arcangel「Data Diaries」⑥

[H.264 (映像ファイル)

2004

[●「Iman Moradi「Glitch Aesthetics」⑦

[★Thomas Ruff「JPEGs シリーズ」⑧

[★坂本龍一「/04」(アートディレクション：中島英樹)⑨

[イベント「O'reilly Web2.0 Summit」(2004～2011、サンフランシスコ)

2005

[★David O'Reilly「Venetian Snares - Szamar Madar」⑩

[イベント「ドークボット東京」(2005～2009)

2006

[Facebook ローンチ

[イベント「Maker Fair」(2006～)

[イベント「Blip Festival」(2006～2012、ニューヨークほか)

2007

[★Takeshi Murata「Pink dot」⑪

[Twitter ローンチ

[Tumblr ローンチ

[iPhone 発売

① GLITCH FESTIVAL AND SYMPOSIUM

イベント

2002
オスロ

参加作家 : Motherboard, Maja Kuzmanovic, Gisle Hannemyr, Grethe Melby, Gisle Frøysland, Andi Freeman, Cecilia Parsberg, Anne Hilde Neset, Tony Scott, Espen Sommer Eide, John Dummett, Toastgirl, Verdensteateret, Jørgen Larsson, Jeff Mann, Motherboard, Per Platou, Amanda Steggell, Staffan Hjalmarsson, Nik Gaffney, Tøyen, Harald Fetveit

アーティストコレクティブ Motherboard が主催したグリッチのイベント。パフォーマンスイベントとシンポジウムで構成された。ステートメントに「グリッチアート」という語が登場し、「それらはまだぼんやりしているが…」という認識が記されている。最初にグリッチという言葉を作品名に用いたグリッチアーティスト Tony Scott (後に Ant Scott と名乗る) がプレゼンテーションし、鮮烈な印象を残した。

⑤ Requiem, Crash

作品

Jacques Perconte

2002

映像作家 Jacques Perconte はこの頃から映像グリッチを試み、現在に至るまでデータモッシングによる作品を作り続けている。Jeff Mills とのヴィジュアルサウンドパフォーマンスチームや、Leos Carax 「Holy Motors」 へのデータモッシングシーケンス提供などもある。

⑥ Data Diaries

作品

Cory Arcangel

2003

作家の Mac のメモリダンプを映像データとして再生するネットアート作品。誤用の美学とグリッチ表現が同居する。同様の手法の作品としては Alva Noto 「Unitxt」 (2008) における Excel や Word ファイルを音楽データとして再生させた楽曲がある。